

## モンタナ州立大学ビリングス校への留学を終えて

熊本県立大学文学部英語英米文学科 松野由紀

私は、昨年9月から今年4月まで、アメリカのモンタナ州立大学ビリングス校で9ヶ月間本学からの交換留学生として学びました。留学中は、アメリカ人の在學生に混じってアメリカの授業を体験し、授業の予習や宿題に追われたことも多々でしたが、その英語に囲まれた環境の中で自分の英語力を向上できたこと、またアメリカ人やその他国籍を超えて友達を作り彼らと交流する機会を得ることができたことは、生涯の財産となると確信しています。

授業においては、講義を通してのリスニング能力の向上はもちろんのこと、授業の予習・課題・テストへ向けた学習により、日本での学習とは比較できないほどの英文を多読・速読し、レポートも当然英語という英語漬けの中で、英語力を高めることが出来ました。また、英語を術として新しい知識を身につけたり思考したりする訓練が出来たことは、日本では出来ないとても貴重な経験でした。

コミュニケーションに関しては、アメリカ人の生徒・他の国からの留学生達と友達になり、色々な話をしたり意見を交換しあうことは、私の視野を広げ、思考を柔軟にしてくれるものばかりでとても良い刺激を与えてくれました。また、留学生同士では活動を共にする機会も多く、故郷を離れて海外で生活をするという同じ境遇の中で感覚を共有し意見を交換し合った彼らは生涯の友であり、彼らと過ごした時間はかけがえのない宝物です。また、親切なホストファミリーに恵まれ、アメリカの生活・文化・食文化を体験する機会も得ることができました。彼らの誘いで教会を何度か訪れ、教会という信仰の場に行くことで、宗教の違いを肌で感じる事ができるとともに、彼らの考え方をより深く知る機会となりました。そしてホストファミリー

との生活は、どのようにして彼らの文化を尊重しつつ、その中に自分の生活スタイルを適応させるか考えることに繋がりました。

その他にも、ホストファミリーの家でホームスクールの子供たちに日本語を教える機会を得たことなど、今回の留学を通して数え切れない程の親切に出会い、数え切れない程の貴重な経験をする事が出来ました。これらの忘れられない素晴らしい経験を今後の人生の糧として、また次なる目標に向けて頑張っていきたいと思います。



ホストファミリーの家での日本語教室



世界各国からの留学生と近くの山にて



モンタナ州立大学内の様子